

校長だより

～弁当のちから～

平成24年10月22日

校長 與那覇 健勇

「校長だより、毎回見てますよ。次、いつ出るか楽しみにしてますよ」
全く意外な人から言われた言葉は本当に嬉しいものでした。校長だよりを半ば義務的に発信していた私が恥ずかしくなりました。知らずして読んで下さる人が存在する。そういうわけで今回は張りきって書きます。

私は、35歳で教員採用試験を初めて受験しました。あと9日過ぎていたら受験の資格はなかったのです。4月1日現在で35歳までというのが平成2年でした。私は4月10日生まれですから、この9日が運命を決めたのです。そして、1年待って平成4年度本採用となりました。実は、私にはその時からずっと20年以上続けていることが一つだけあります。それは、毎朝弁当をやることです。教諭時代、行政時代、そして校長になってからでも私の一日は、台所に立つことから始まるんです。ホームルーム担任の時に思い付きで始めたのがクラスの生徒の誕生日に手作りの弁当をプレゼントすることでした。担任を5度したので、私から誕生日のお祝いに弁当を貰った生徒は200人はいることになります。現在、私は読高の校長ですが、今年の目標は100人の生徒に誕生日弁当をプレゼントすることです。「校長の手作り弁当を食べてみたい人は誕生日の前にリクエストして下さい」と3学年集会で言ったところ、現在36名の生徒がおいしかったと食べてくれました。あと64名に頑張って作りたいと思います。ここで、言いたいのは食べて喜んでもらうことだけが目的ではないことです。生徒には弁当と一緒にポストカードを用意して感想を書いてもらっています。生徒は感謝の気持ちをいかに表現するかで格闘します。文字を書き、伝えることで表現力を磨き、成長するんです。弁当をプレゼントということは、その人の感謝の気持ちやその表現力のアップに効果大だと思うんです。そこで今日は生徒からのポストカードを紹介します。

今回は、姉の誕生日ということで私にまで作って下さってありがとうございます。本当、嬉しかったです。10月16日のあの日、全部で4つお弁当を作ったと聞きました。やっぱり校長先生はすごいです！校長先生のお弁当の中で一番印象に残ったのが卵焼きです。のりがまいてあるの初めてみました。こうばしい香りがほんのりと生きていて、おいしかったです。ハンバーグもおいしく頂きました。あのお肉は沖縄のフタさんだったりするのでしょうか…。そして手作りならではのあの大きさ、思わず顔が綻んでしまいました。校長先生からのプレゼントは、すーごく嬉しかったです。ありがとうございました！！

カードには本当においしそうな弁当のイラストが書いてありました。